スピーカーシステム　取扱説明書

S-PM300

Pioneer

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

注意

設置

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビやオーディオ機器等に本機を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を乗せて移動しないでください。倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

使用方法

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

ご使用の前に

このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、6 Ω(オーム)です。負荷インピーダンスが 6 Ω対応のアンプ（スピーカー出力端子に 6 Ω適合の表示があるもの）へ接続してお使いください。

- 振動板は、外力により強い衝撃を与えると破損することがあります。振動板には手を触れないでください。

スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上の入力を入れない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をオフにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げすぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

ピュアモルトキャビネットの特長

本機のキャビネットには、ウイスキーを熟成させる樽に使用したホワイトオーク材を再利用しています。ウイスキーの樽は、樹齢100年を超えるオーク（樽の木）で作られ、さらに半世紀以上もの間ウイスキーの熟成に使用されます。この堅く丈夫な樽材を、スピーカーのキャビネットに利用することで不要な共振の発生を抑え、楽器のような響きを持つ樽材の特性により、表現力豊かな美しい音を再生します。
ウイスキーの樽材ならではの特長として、製品によって樽の釘跡やウイスキーの染み跡などがあり、製品一つ一つが異なる個性を持っています。同じ物は他に一つとして無い、個性豊かな風合いの違いをご観賞ください。
また、キャビネットに使用した樽材（オーク材）は天然材のため、ご使用環境下での温度・湿度の変化に敏感に反応します。湿気が多すぎたり、乾燥しすぎたりすると音質に悪影響を及ぼすだけでなく、樽材の収縮によりキャビネットが変形・変色する恐れがあります。最適な状態で末永くご愛用していただくために、以下の点にご注意ください。

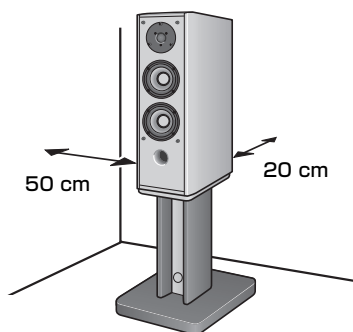
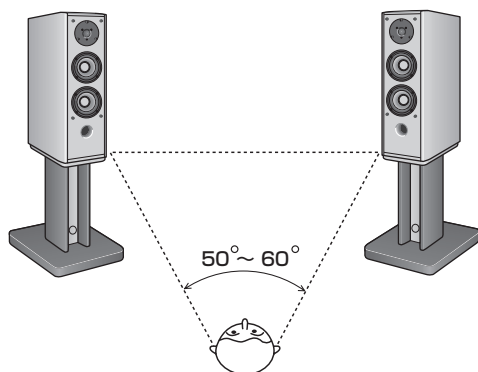
使用上の注意

- 人が不快に感じる環境は、スピーカーにとっても同じです。快適な環境でご使用していただくことにより、本来の性能を十分に発揮できます。ご使用場所の環境は、以下を目安にしてください。
  温度：15 ℃～25 ℃
  湿度：35 %～65 %（冬期） / 40 %～70 %（夏期）
- 湿度が高すぎる場所では除湿機などを利用し、乾燥しすぎる場所では加湿器などを利用して湿度を調整してください。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。
- クーラーやストーブなどで、お部屋を急激に冷やしたり暖めたりすると、お部屋が乾燥しすぎることがあるのでご注意ください。
- 外気の影響を受けやすい窓際などでは、結露する恐れがありますのでご注意ください。

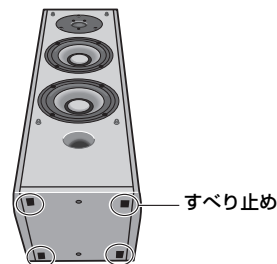
設置について

スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でお使いください。
このスピーカーシステムはブックシェルフ型です。床に直接置くと、床面からの音の反射が大きくなり低音部が強調されて聴きづらくなります。この場合は置台を使用して床面から離してください。一般的には、高音用のスピーカー(トゥイーター)とリスナーの耳の高さが同じになるように設定すると良い結果が得られます。なお、置台にはスピーカースタンド(CP-PM300)をお勧めします。
CP-PM300をお使いのときは、落下防止のため、必ずスピーカーシステムをネジで固定してください。
詳しくはCP-PM300の取扱説明書をご覧ください。

取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は当社では一切負いかねますのでご了承ください。

- 本機の重量は8.5 kg(1本当たり)です。設置するときは床面のしっかりした場所を選び、壁面からは下図に示す程度の距離を目安に離して設置してください。
  本機の後面と壁の距離によって低音の量感を調整することができます。側壁からの距離で左右の音質差がないよう調整してください。

- 左右のスピーカーはリスニングポジションに対し等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。

- 左右のスピーカーシステムの前面がテレビの画面などとなるべく同一平面になるように設置してください。
- テレビなどと組み合わせて、より良好な広がりのあるサウンドを実現するためには、テレビを左右のスピーカーシステムの中央に設置し、左右のスピーカーシステムを聴取位置から約50°～60°の角度に設置するのが理想的です。
- 洋間などでは、壁や床に音が反射または共振しやすくなります。壁にはカーテン、床にはじゅうたん等を敷くなどして処理することをお勧めします。カーテンを部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も、厚手のカーテンで処理をすると定在波の発生を防ぎ良い結果が得ることができます。

すべり止めの取り付けかた

設置する場所に応じて、付属のすべり止めを使用してください。すべり止めは、スピーカーの設置する面の四隅に貼り付けてご使用ください。ただし、設置する場所によって、すべり止めの効果が不十分になることがありますので、すべりやすい場所には設置しないでください。

グリルネットの着脱のしかた

前面のグリルネットを取り外すことができます。グリルネットを着脱するときは、以下のように行ってください。

1 グリルネットの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っ張る。
グリルネットの下側を外します。

2 グリルネットの上側を手前に引っ張る。
グリルネットが本体から外れます。

3 取り付けるときは、グリルネットの四隅にある穴部を本体の突起部に合わせて、押し込む。

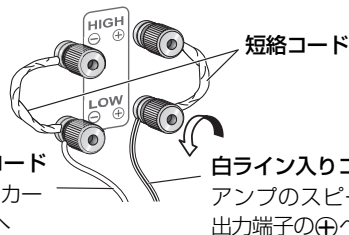
アンプとの接続

本機の入力端子はバナナプラグでの接続もできます。

1 接続するアンプの電源をオフにする。

2 本機の後面の入力端子(下側)とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続する。
入力端子の極性は赤がプラス⊕、黒がマイナス⊖です。
⊕端子は白ライン入りのコードで、⊖端子はライン無しのコードでつなぎます。

① 被覆をはがして先端をまとめる。

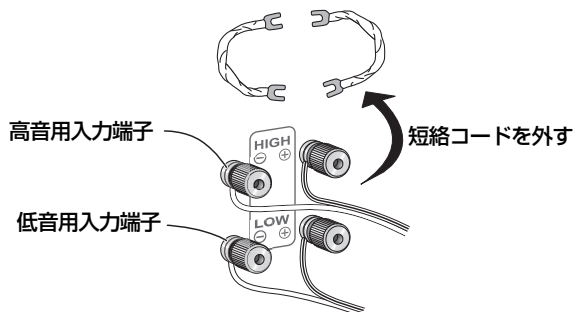
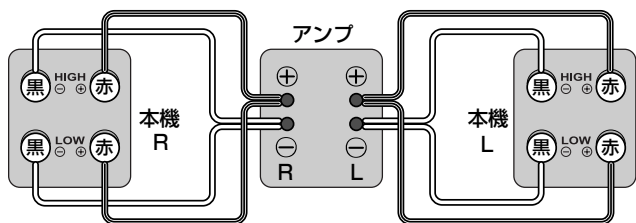
②ネジを左 (⟲)に回してゆるめ、コードを穴に差し込み、短絡コードとともネジをしめる。

- 端子に接続したあと、コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確認してください。接続が不完全ですと音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりすると、アンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプと接続したとき、スピーカーシステム(左右どちらか)の極性(⊕、⊖)を間違って接続すると、正常なステレオ効果を得ることができません。

■ バイワイヤリング接続

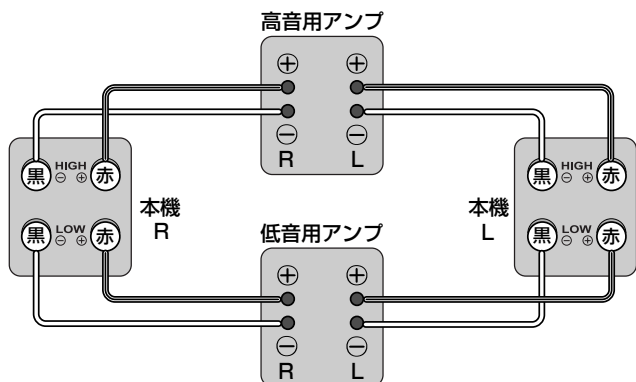
本機はバイワイヤリング接続が可能です。スピーカーコードは片チャンネルあたり低音用と高音用のそれぞれに２本使用します。低音用と高音用にそれぞれ異なったコードを使用し、変化のある音色を楽しむこともできます。

1 接続するアンプの電源をオフにする。

2 入力端子の2本の短絡コードを外す。（高音用スピーカーと低音用スピーカーが分割される。）
外した短絡コードは、なくさないように大切に保管してください。

3 入力端子の上側に高音用、下側に低音用コードをそれぞれ接続する。

4 コードを下図のとおりに接続する。
コードの極性を逆にして接続すると、著しく音質を損ないますのでご注意ください。

● 通常の接続に戻す場合は、すべてのスピーカーコードを外してから、元のとおり短絡コードを取り付けてください。万一、短絡コードを紛失した場合は、短く切ったスピーカーコードで代用できます。

■ バイアンプ接続

さらにグレードの高い接続方法としてバイアンプ接続があります。バイワイヤリングと同様に入力端子板の短絡コードを完全に外した状態で、低音用入力端子には低音専用アンプの出力を、高音用には高音専用アンプの出力を接続します。

キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5〜6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所への音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

防磁設計について

本機は、テレビとの近接使用が可能な防磁設計のスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色むらが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色むらを発生するような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。近くに磁石や磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

仕様

形式 .... 位相反転式、ブックシェルフ型防磁設計(JEITA)
スピーカー構成 2ウェイ方式
　ウーファー .... 10 cm コーン型 x 2
　トゥイーター .... 2 cmドーム型
　公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 40 Hz〜40 kHz
出力音圧レベル .... 84 dB
許容入力
　最大入力(JEITA) .... 100 W
クロスオーバー周波数 .... 4.5 kHz
外形寸法 .... 160 mm (幅) x 540 mm (高さ) x 252 mm (奥行)
質量 .... 8.5 kg (1個)

付属品
スピーカーコード(2.5 m) x 1
すべり止め x 1（セット）
保証書 x 1
ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内 x 1
取扱説明書

● 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証期間中（一年間）、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りの当社サービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は裏表紙の「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後8年間です。
補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070−800−8181−22　■一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書をご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーハイオニア）　■一般電話　03−5496−2023

■ファックス　0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910

■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　■一般電話　0538−43−1161

■ファックス　0120−5−81096

平成18年7月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.019

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<SRA1447-A>